

**翔**

**百万石蝶談会 No 159**

**December 2002**

## 奥能登の内浦町、柳田村、門前町での蝶の追加記録種

日吉宏朗・日吉芳朗・日吉南賀子

「市町村別蝶類記録一覧表」(松井正人、2000)をみると、2000年までに石川県下の各市町村で記録された蝶の種類が一目でわかる。ところが、これをみて驚いたことは奥能登の町村の記録がいかにも少ないことである。とりわけ内浦町、柳田村にいたっては17、13種しか記録されておらず、その中にはモンシロチョウも含まれていない。これでは、どなたかがおっしゃった「20世紀にはこの地にモンシロチョウがいなかったといわれてもしかたがない」ということにもなりかねない。

そこで、著者の1人日吉宏朗が門前高校、続いて内浦町松波中学校勤務になったのをきっかけに、これらの地での採集・目撃記録をとることにした。

その結果、内浦町、柳田村、門前町で、それぞれ26、34、8種を追加し、それぞれの総記録種を53、47、62種とすることができた。前出の松井(2000)によれば、奥能登の市町村での目標種数は70種となっている。門前町の62種が、この中で最も目標種数に近いが、内浦町では2002年から松波中学校の生徒諸君が調査を始め、今後も継続すると聞くので、内浦町が最も早く目標種数を達成する可能性が高い。

以下に、今回の追加記録種を町村別に記す。

### ■石川県珠洲郡内浦町 26種追加

1	ダイミョウセセリ	2002年8月 8日 上	1 ♀	日吉宏朗
2	アオバセセリ	2002年5月20日 松波	1 ♀	吉尾成美
3	コチャバナセセリ	2002年6月15日 河ヶ谷	1 ♂	日吉宏朗
4	イチモンジセセリ	2002年7月12日 九里川尻	1 ♂	日吉宏朗
5	ジャコウアゲハ	2002年7月25日 松波	1 ♀	日吉宏朗
6	キアゲハ	2002年8月 8日 上	1 ♀	日吉宏朗
7	カラスアゲハ	2002年7月 7日 九里川尻	1 ♀	日吉南賀子
8	スジボソヤマキチョウ	2002年4月 3日 滝之坊	1 ♂	日吉宏朗
9	ツマキチョウ	2002年4月26日 松波	1 ♂	谷内佳奈恵
10	モンシロチョウ	2002年4月26日 松波	1 ♀	川向 遥
11	スジグロシロチョウ	2002年7月 7日 十八束	1 ♂	日吉宏朗
12	アカシジミ	2002年7月 7日 九里川尻	1 ♀	日吉宏朗
13	ミズイロオナガシジミ	2002年6月18日 山口	1 ♀	日吉宏朗
14	オオミドリシジミ	2002年6月15日 河ヶ谷	1 ♂	日吉宏朗
15	ゴイシジミ	2002年6月15日 十八束	1 ♂	日吉宏朗
16	ルリシジミ	2002年6月16日 松波	1 ♂	新谷信之

17 ツバメシジミ	2002年6月17日	松波	1 ♀	日吉宏朗
18 ウラギンシジミ	2002年9月10日	松波	1 ♀	日吉宏朗
19 テングチョウ	2002年6月21日	松波	1 ♀	吉尾成美
20 ウラギンスジヒョウモン	2002年6月15日	河ケ谷	1 ♂	日吉宏朗
21 ルリタテハ	2002年4月29日	山口	3 頭目撃	日吉宏朗
22 ヒオドシチョウ	2002年6月15日	河ケ谷	1 ♂	日吉宏朗
23 アカタテハ	2002年8月 8日	上	1 ♀	日吉宏朗
24 コムラサキ	2002年8月10日	上	1 ♂	日吉宏朗
25 クロヒカゲ	2002年6月14日	十八束	1 ♂	日吉宏朗
26 ヒメジャノメ	2002年6月 7日	松波	1 ♀	日吉宏朗

アカシジミ、ミズイロオナガシジミ、オオミドリシジミは松井正人（2001）によって、ジャコウアゲハは日吉芳朗（2001）によって、これ以前にも記録されている。また、コムラサキは奥能登では普通の黒色型であった。なお吉尾成美、谷内佳奈恵、川向 遥、新谷信之の諸氏は松波中学校の生徒諸君である。

#### ■石川県鳳至郡柳田村 34種追加

1 ミヤマセセリ	2002年4月14日	合鹿	1 ♂	日吉南賀子
2 ダイミョウセセリ	2002年8月10日	五十里	1 頭目撃	日吉芳朗
3 イチモンジセセリ	2002年9月 7日	合鹿	1 ♂	日吉南賀子
4 キアゲハ	2002年4月14日	柳田	1 頭目撃	日吉芳朗
5 オナガアゲハ	2002年6月 2日	北河内	2 ♂目撃	日吉芳朗
6 モンキアゲハ	2002年9月 7日	合鹿	1 ♂	日吉芳朗
7 カラスアゲハ	2002年9月 7日	合鹿	1 ♀目撃	日吉南賀子
8 スジボソヤマキチョウ	2002年4月14日	合鹿	1 ♀	日吉芳朗
9 モンキチョウ	2002年7月 6日	鉢伏山	5 頭目撃	日吉芳朗
10 ツマキチョウ	2002年4月20日	合鹿	1 ♂	日吉南賀子
11 モンシロチョウ	2002年4月14日	合鹿	1 ♀	日吉南賀子
12 スジグロシロチョウ	2002年4月14日	合鹿	1 ♀	日吉芳朗
13 アカシジミ	2002年6月15日	鉢伏山	1 ♀	日吉宏朗
14 エゾミドリシジミ	2000年6月29日	鉢伏山	1 ♂	日吉芳朗
15 トラフシジミ	2002年4月14日	合鹿	1 ♀	日吉芳朗
16 ベニシジミ	2002年9月27日	合鹿	5 頭目撃	日吉南賀子
17 ゴイシジミ	2002年8月13日	五十里	1 ♂	日吉宏朗
18 ウラナミシジミ	2000年11月3日	柳田	1 ♂	日吉南賀子

19 ヤマトシジミ	2002年9月 7日	合鹿	1♂	日吉芳朗
20 テングチョウ	2002年7月 6日	鉢伏山	1頭目撃	日吉芳朗
21 アサギマダラ	2002年7月 6日	鉢伏山	1♂目撃	日吉芳朗
22 ウラギンスジヒョウモン	2002年9月27日	合鹿	1♀	日吉芳朗
23 オオウラギンスジヒョウモン	2002年9月27日	合鹿	1♀	日吉南賀子
24 ミドリヒョウモン	2002年9月 7日	合鹿	1♀	日吉芳朗
25 クモガタヒョウモン	2002年9月27日	合鹿	1♀	日吉芳朗
26 メスグロヒョウモン	2002年9月27日	合鹿	1♀	日吉南賀子
27 ウラギンヒョウモン	2002年7月 6日	鉢伏山	1♂	日吉芳朗
28 キタテハ	2002年8月13日	五十里	1頭目撃	日吉芳朗
29 ルリタテハ	2002年9月 7日	合鹿	1♀	日吉芳朗
30 ヒオドシチョウ	2002年4月14日	合鹿	1♀	日吉南賀子
31 ヒメアカタテハ	2002年9月27日	合鹿	1♀	日吉芳朗
32 クロヒカゲ	2002年6月 2日	北河内	2♂目撃	日吉芳朗
33 ヤマキマダラヒカゲ	2002年6月 2日	北河内	1♂	日吉南賀子

オオミドリシジミについては、すでに報告しておいた（日吉芳朗・日吉南賀子、2001）。

■石川県鳳至郡門前町 8種追加

1 クロアゲハ	2001年8月31日	道下	1♂	日吉宏朗
2 モンシロチョウ	2001年6月 5日	日野尾	1♂	日吉宏朗
3 コツバメ	2002年4月29日	西円山	1♀	日吉南賀子
4 ゴイシジミ	2001年8月30日	山是清	1♀	日吉芳朗
5 ウラギンヒョウモン	2001年6月 5日	小滝	1♂	日吉宏朗

アカシジミ、ミズイロオナガシジミ、ミドリシジミについては、すでに報告しておいた（日吉宏朗・日吉芳朗・日吉南賀子、2001）。

《参考文献》

松井正人（2000）市町村別蝶類記録一覧表．翔（147）：6-10.

松井正人（2001）石川県の低地および能登丘陵周辺のゼフィルス．翔（153）：1-2.

日吉宏朗・日吉南賀子・日吉芳朗（2001）2001年の輪島市および鳳至郡門前町とその周辺におけるゼフィルス．翔（153）：3-5.

日吉芳朗（2001）秋さなかの10月ジャコウアゲハを目撃する．翔（152）：3.

日吉芳朗・日吉南賀子（2001）石川県輪島市での1999年の蝶採集記録から．翔（149）：5-8.

《ひよし あつろう・よしろう・ながこ 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

## 金沢市のキバネセセリ

久 慈 一 英

石川県金沢市のキバネセセリについては、森本地域における古い記録しかない（時国、1972）。しかもこの記録は、偶産の可能性が強く（松井、1998a）、金沢市における確実な産地は、報告されていない。

猛暑の日の午後3時か4時頃、犀川ダム横の林道沿いの木の白い花（リョウブ）にキバネセセリが数頭吸蜜に集まっていた。すでに、オスは破損していたが、メスには比較的新鮮なものがいた。1本の木に多かったが、他でも見かけたので、ダム周辺に安定して生息している可能性が高い。松井（1998b）によれば、犀川ダム上流で、食草のハリギリから若齢幼虫の巣が発見されている。

金沢市といっても、犀川ダム周辺より奥はアクセスが困難なこともあって、手つかずの自然が残っている貴重な地域である。

### ■キバネセセリ

2002年7月20日 石川県金沢市犀川ダム 2♂1♀採集数頭目撃 久慈一英

同日、ミドリヒョウモン、サカハチチョウ、ミヤマカラスアゲハ、カラスアゲハ、コチャバネセセリなども見られた。

その他、参考までに石川県以外でのキバネセセリの自己採集記録を載せておく。

### ■石川県以外のキバネセセリ

1994年7月23日	滋賀県伊香郡木之本町八草峠	1♂	久慈一英
1996年7月13日	岐阜県吉城郡神岡町有峰林道	2♂	久慈一英
1996年7月27日	福島県耶麻郡北塩原村裏磐梯スキー場	1♂	久慈一英
1998年7月19日	岐阜県大野郡高根村日和田高原	1♂	久慈一英

キバネセセリには、自然のよく保たれた山麓で、偶然遭遇することがほとんどである。訪花しているものを採集したのが、ほとんどのケースで、群れていることは少ないと思う。人気もなく、目立たない蝶なので、注意していないと見つからないのが、あまり報告がない理由かもしれない。金沢市での記録は稀であるから、犀川ダムでの発生も一過性の現象かもしれないので、経過を見ていく必要がある。

### 《 参考文献 》

松井正人（1998a）チョウ目蝶類. 石川県の昆虫. 342-365.

松井正人（1998b）犀川源流域でキバネセセリの巣を発見. 翔（130）：6.

時国健太郎（1972）蝶の新産地. とっくりばち（22・23）：4.

《くじ いちえい 〒920-1161 金沢市鈴見台3-1-3》

## 白峰村明谷川でキバネセセリを観察

松 井 正 人

石川県内では成虫の観察記録が少ないキバネセセリを、白峰村明谷川で観察したので報告する。

明谷川に入るには、手取川本流の風嵐地区から小又谷川に沿って林道に入り、途中から右手に分岐する。林道は、谷川に近づいたり離れたりしながら、明谷川に沿って走り、所々で杉林を通り抜ける。途中には、ミツバチの巣箱も置かれていて、クマ避けの電線が張り巡らされている場所もある。林道脇には、ところどころにある程度まとまってオカトラノオが咲き、セセリの仲間が集まっていた。

車で通りすぎる際、この中にひととき大きなセセリがいることに気がついた。車を止めると、キバネセセリだと判明したが、直ぐにどこかへ飛び去ってしまった。周辺の調査を始めると、日陰のオカトラノオに好んでセセリの仲間が集まっているようだった。クマ避け電線に守られた巣箱まで歩くと、再びオカトラノオで吸蜜するキバネセセリを発見した。クマ避け電線が有るために近くへ寄れず、やや離れて観察していると、飛び去ることもなく、長く観察することができた。

### ■ 2002年7月14日 石川県石川郡白峰村明谷川で目撃した蝶

オカトラノオで吸蜜

キバネセセリ 2頭、 キマダラセセリ 2頭、 ヒメキマダラセセリ 4♂2♀、  
コキマダラセセリ 1頭、 ホソバセセリ 1頭、 イチモンジセセリ 2頭、  
コチャバネセセリ 1頭、 アカタテハ 1頭、 ミドリヒョウモン 5♂

その他

コムラサキ 1♀、 コジャノメ 1♀

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

## 石川県に於けるキバネセセリの観察記録地

松 井 正 人

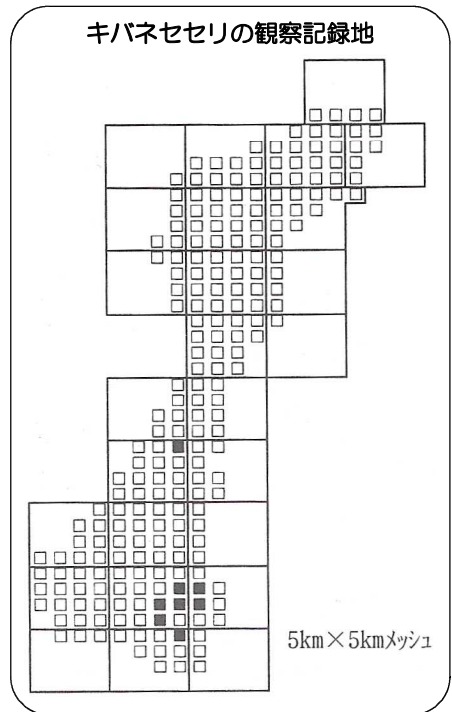
石川県の蝶相（武藤、1971）によれば、石川県のキバネセセリは、六万山、柳谷、市ノ瀬、岩間、中宮などの白山地方に分布するとあるが、このころまでに石川県で発表されたものと同様、観察年月日などの観察記録は付されていない。

石川県に於けるキバネセセリの観察記録が発表されたのは、時国（1972）が最初であろう。しかし、ここではこれまでとは全く異なった産地として、金沢市と河北郡津幡町が取り上げられている。この産地は、偶産だったようで、その後の調査では再発見に至っていない（松井、1984）。1980年までのセセリチョウ科の記録をまとめた松井（1981）でも、

キバネセセリの観察記録は、時国（1972）のものしか見あたらない。

前述の「石川県の蝶相」で報じられた白山地方のキバネセセリについて、観察記録が発表されたのは、金平（1981）が最初で、松井（1982）、中西（1984）、富沢（1996）と続くが、発表された観察記録は少ない。

1998年に「石川県の昆虫」のチョウ目蝶類（松井、1998）をまとめた時点では、未発表の観察記録も多数あったが、観察記録地が同一のものが多く、時国（1972）の2カ所を除くと、白山地方の観察記録地は9カ所に過ぎなかった。その後、1カ所の観察記録地が追加されたが、ほとんどが近接しているため、石川県に於けるキバネセセリの観察記録地は、極狭い範囲に限られている。



#### ■キバネセセリの観察記録

記録年月日	記録場所	記録	記録者	参考文献
1971年6月26日	津幡町浅谷トンネル	1 ♂	時国健太郎	(時国、1972)
1971年6月26日	金沢市浅丘小学校	2 頭目撃	時国健太郎	(時国、1972)
1981年8月29日	吉野谷村蛇谷		金平永二	(金平、1981)
1985年5月26日	吉野谷村中宮温泉	15 幼	松井正人	(松井、1998)
1994年6月11日	吉野谷村途中谷	1 幼目撃	松井正人	(松井、1998)
1984年6月14日	吉野谷村雄谷	5 幼	松井正人	(松井、1998)
1983年7月24日	尾口村丸石谷林道	1 頭	中西重雄	(中西、1984)
1990年5月27日	尾口村三又発電所	1 幼目撃	松井正人	(松井、1998)
1994年7月30日	尾口村鴉ヶ谷	1 頭	富沢直浩	(富沢、1996)
1995年7月15日	尾口村目附谷	1 頭目撃	松井正人	(松井、1998)
1982年6月 6日	白峰村白山釈迦道	7 幼	松井正人	(松井、1982)
2000年5月27日	白峰村白峰スキー場	3 幼	松井正人	

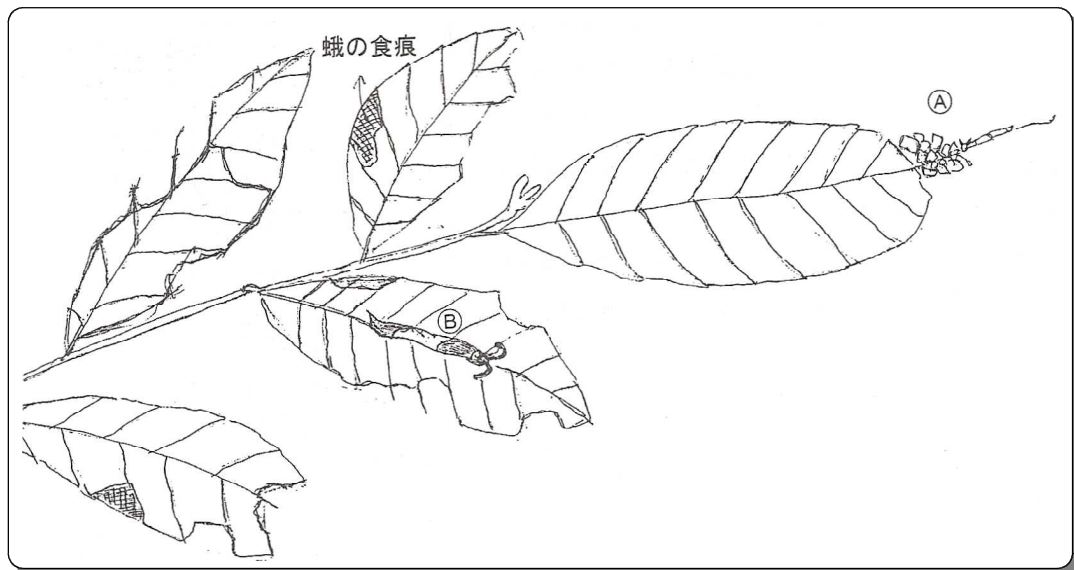
#### 《 参考文献 》

- 金平永二（1981）採集メモ・蛇谷のツマジロウラジャノメ. 翔（23）：3.  
 松井正人（1981）セセリチョウ特集. 翔（22）：22pp.  
 松井正人（1982）キバネセセリ幼虫採集法. 翔（33）：1.  
 松井正人（1984）森本付近の注目すべき樹木. 翔（46）：9.  
 松井正人（1998）チョウ目蝶類. 石川県の昆虫：342-365. 石川県.  
 中西重雄（1984）岩間丸石谷ゴマシジミ探索谷底降り. 翔（45）：6-7.  
 武藤 明（1971）石川県の蝶相. 石川むしの会特別報告第2号. 14pp.  
 時国健太郎（1972）蝶の新産地. とっくりばち（22・23）：4. 石川むしの会.  
 富沢直浩（1996）僕が採ったチョウの記録. 翔（121）：6-9.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

## 金沢市に於ける盛夏のスミナガシ採幼について

勝海雅夫



8月上旬、金沢市加賀朝日周辺でスミナガシ成虫を6個体採集することができ、食樹であるアワブキも沿道に高密度に自生しているので、採幼を試みた。盆前に日当たりの悪いアワブキをねらい、2.5m程度までの高さを上限として、沿道のアワブキ約20本にねらいをつけて探した結果、2齢幼虫32頭を観察した。

2002年8月13日 金沢市加賀朝日 スミナガシ2齢幼虫32頭目撃

図でも解かるように、Aの特徴ある食痕の色は、茶色では『ダメ』で幼虫はいない。灰白色の食痕では必ず『ウシシ・・・』となる。理由は簡単で、幼虫そのものの体色が灰白色だからである。茶色の巣は、幼虫が天敵にやられて空家になっている場合と、宿替えが考えられるが、その近辺に幼虫がいた例は少ない。見付かったのは、あまりに小さい幼虫なので、自然環境下で思う存分大きくなって貰おうと採集せず、再度8月31日に『ウシシ・・・』気分を味わいに訪れると『ン・・・?』、数が足りない。

2002年8月31日 金沢市加賀朝日 スミナガシ2齢幼虫8頭3齢幼虫6頭採集

あの2齢幼虫の残りは、どこへ消えてしまったのか。アワブキの樹上や葉にアリさん達が盛夏を謳歌しているのを見て、今年6月の悲劇を思い起こしてしまった。

スミレが冬期も枯れない様に菰を掛けたり、4月～5月にかけては食草確保に早朝ジョギングしたりしていたのに、それなのにソレナノニ、1匹の鼻の効くアリが植木鉢の底から侵入し、しめしめと不逞の輩を導き入れ、マルマルと太ったオオウラギンヒョウモンの終齢5頭、前蛹2頭、そして多分♀であろう3齢幼虫7頭が、なんと全滅。しっかり上からネットを掛けていた為逃げることもできず、ただ頭部のみが残されていた悲劇。



目の前のアワブキの葉上にいるアリを見て『おまえらな〜』と、ため息をつきながらも14頭を確保した事は、言うまでもない。9月19日現在、11頭が蛹化し、3頭が終齢幼虫。

図でB程度の個体になると、地上より5~60センチ程度の木または垂れ下がった枝で効率良く採幼できた。そのとき2本のツノは、必ず葉にピッタリ付けていた。

#### ■スミナガシ観察時に目撃した蝶 (2002年 金沢市加賀朝日)

8月3日 オオムラサキ1♀

8月13日 ルリタテハ多数、コムスジ5頭、ウラギンシジミ15♂10♀

8月31日 ミヤマカラスアゲハ1♂1♀ (交尾中観察)、カラスアゲハ4♂1♀、  
モンキアゲハ多数、ルリシジミ3♂2♀、ヤマトシジミ7♂1♀、  
ゴイシシジミ3頭、ヒカゲチョウ4♂、キチョウ数頭

《かつみ まさお 〒921-8051 金沢市黒田1-23-2》

## 2002年アサギマダラのマーキング活動と再捕獲記録

### 百万石蝶談会

2002年に、石川県内で行われたアサギマダラのマーキング活動のほとんどは、輪島市鉢伏山周辺、押水町宝達山と思われ、鉢伏山周辺でのマーキングは7月下旬から8月上旬、宝達山のマーキングは8月上旬と9月下旬にかけて行われた。

鉢伏山周辺のマーキングは、日吉芳朗、日吉南賀子、日吉宏朗、吉田弥生、松井正人、藤井 恒、藤井佐紀子の各氏が行い、マーク数は1200頭前後に達しているが、そのほとんどは輪島市在住の日吉芳朗氏が行っている。宝達山のマーキングは、松井正人ほか「キゴ山探検隊」メンバーの吉長高嶺、館 佳佑とその家族が行ったが、2002年の観察数は少なかつたため、マーキング数も109頭と少なかつた。

再捕獲については、県内での再捕獲はなかつたものの、県内発のアサギマダラが、以下のように各地で再捕獲されている。(11月25日現在)

標 識	性	標識日	標 識 地	標識者	再捕獲日	再 捕 獲 地	再捕獲者
1 石ひよし204 IHY はちぶせ	♂	7月24日	輪島市鉢伏山	日吉 芳朗	8月29日	山形県山形市蔵王山パワハラ片貝沼	永幡 嘉之
2 石ひよし212 IHY はちぶせ	♂	7月24日	輪島市鉢伏山	日吉 芳朗	9月25日	京都府綴喜郡鷺峰山	長谷川政興
3 I MM 060 ハチ	♂	7月24日	輪島市鉢伏山	松井 正人	11月22日	沖縄県宮古郡伊良部島	多田 弘一
4 I MM 108 ハチ	♂	7月24日	輪島市鉢伏山	松井 正人	10月 3日	和歌山県日高郡日高町西山	乾風 登
5 石ひよし334 IHY はちぶせ	♂	7月25日	輪島市鉢伏山	日吉 芳朗	10月 7日	愛知県幡豆郡幡豆町鳥羽川坂	岡田由美子
6 石ひよし396 IHY はちぶせ	♀	7月26日	輪島市鉢伏山	日吉 芳朗	10月 3日	和歌山県日高郡日高町西山	乾風 登
7 石ひよし473 IHY はちぶせ	♀	7月27日	輪島市鉢伏山	日吉 芳朗	9月30日	愛知県知多郡美浜町野間富具神社	村井 信彦
8 はちのせ、saki 11 7/27	♂	7月27日	輪島市鉢伏山	藤井佐紀子	9月23日	群馬県勢多郡赤城村赤城自然園	石井 勇・他
9 P048 ハチノト	♂	7月27日	輪島市鉢伏山	藤井 恒	10月12日	和歌山県日高郡日高町西山	畑 香登・他
10 石あつろう 059	♂	8月 5日	輪島市鉢伏山	吉田 弥生	10月23日	和歌山県日高郡日高町西山	乾風 登

キタテハ黒化型をネットイン  
輪島の日吉夫妻、奥さん運  
転の車で各地に出没している  
が、奥さんはただの運転手に  
あらず。日吉氏に匹敵する愛  
好家で、一緒にネットを振つ  
ている。今回の採集品は、奥  
さんのネットに入った。

カバマダラにとつきりドキドキ  
車の前を通り過ぎるカバマ  
ダラ。「また来た。発生は。  
飛来はいつ頃。」と頭の中を  
飛び回るカバマダラ。しかし、  
車を止めると、マリーゴール  
ドで盛んに吸蜜するツマグロ  
ヒョウモンの雌が眼に入り、  
一瞬にして夢から覚める。「ん  
な訳ないじゃん」。

福井で目撃のヤエヤマムラサキ  
迷蝶としては、あまり名前  
を聞かないヤエヤマムラサ  
キ、さぞや珍しいと思ってい  
たら、結構アチコチで採集さ  
れている。あろうことか、越  
前海岸でも一九八八年に目撃  
されていた。

小幡氏、デジカメを購入  
光学式オンリーだった小幡  
氏が、ついにデジカメを購入。  
現像に出さずに結果が分かる  
ので、写真がうまくなると思  
いきや、どれだけ撮っても金  
額にひびかないので、撮影は  
益々雑になるばかり。

A D S L 圏外で効果なし  
松井事務局長、やっとイン  
ターネットを始めるらしい。  
「使えばなし定額料金の A  
D S L だ」、と言っていたが、  
電話局から遠すぎて使えな  
い。ダイヤルアップになるの  
で、インターネット中は当然  
電話はつながらない。

細沼氏、長期の沖縄採集行  
細沼氏、なんと十月二十六  
日から十一月三日まで、沖縄  
に浸かっていた。狙うは迷蝶、  
しかも成虫採集にこだわった  
がために、雨に泣かされた。  
手ぶらでは帰れず、コモンタ  
イマイやバナナセリりの幼虫  
を採ってきた。

今年も仲良く沖縄採集旅行  
昨年引き続き、今年も沖  
縄に渡った日吉夫妻、雨にた  
たられながらも、ひたすら回  
復を待つて各地で採集。選り  
すぐりのポイントを回った成  
果は、約三百頭。

鱗翅学会編レッドリスト  
「日本産蝶類の衰亡と保護」  
に掲載する都道府県別 R L の  
作成が進んでいる。できあが  
れば、これだけで日本の蝶類  
の現状が明らかにになる。印刷  
は、来年の夏頃。

アサギマーキングパンフレット  
四力国語で説明された、ア  
サギマダラのマーキングパン  
フレットが作られた。ここま  
で格調が高いと、チラリと見  
せるだけで、網を振る変なオ  
ジサンが、格調高いオジサン  
になること請け合い。

鉢伏山マークの再捕獲が九頭  
今年、鉢伏山でマークした  
個体の総数が千二百頭前後、

今までに判明した再捕獲がな  
んと十頭。となれば、概ね百  
二十頭に一頭が再捕獲されて  
いることになる。これまでは、  
三百頭に一頭の確率だった  
が、最近の調査の盛り上がり  
で、再捕獲率が上がってきた。

## 例会の記録

十月三日(木)城南管工一  
階にて八時から開催。

今回の話題は、輪島で得ら  
れたクロアゲハ無尾型と、そ  
の兄弟と思われる十頭の写  
真。後翅赤斑が大きく発達す  
る個体や、尾状突起に見られ  
るバラツキ等から、色々な憶  
測がなされたが、参加者の意  
見は、南方系の血が入った混  
血で一致した。

その他の話題は、ジェット  
気流の蛇行で蝶の飛来に異  
変、アジアカクマゼミ抜殻の  
見分け方、ウエダオルムが採  
れるゴーヨクトラップの作り  
方などなど。

参加は、井村、中西、久慈、  
西、松井、徳本、細沼、大脇  
の八人。

# 會員の動き・しゃばの動き

## 無尾型クロアゲハの夢

無尾型クロアゲハが産卵していた中庭のミカン、今年もクロアゲハが産卵したと、慎重に飼育していた日吉氏ではあったが、有尾型のクロアゲハが次々と羽化している。赤斑も全く変わらないとか。

## アサギマダラがやってきた

舩倉島では、春と秋の渡りの時期にアサギが観察されている。九月二十七日に島に現れたと、協力いただいている分校の先生から連絡が入った。

## アサギマダラの絵本ができた

福音館書店から出ている「月刊たぐさんのふしぎ」の十月号(二百十一号)に、「旅をするチョウ」と題してアサギマダラが載っている。アサギマダラに魅入られ、だんだん

んとのめり込んでいく著者を通して、渡りやマーキングのイロハが紹介されている。

## 宝達山アサギマーキングは不調

九月の宝達山は気温の変化が激しかった。一日には三十度を超えていたのに、中旬以降は二十度にも達しない。例年なら、一日で百頭以上マーキングできるのに、今年は八回通っても百頭に達しなかった。唯一楽しかったのは、二十一日は、二家族がマーキングに参加したことだった。

## 舩倉島のヤエムラ騒動

輪島の日吉芳朗氏は、舩倉島のアサギ情報を収集するために、二軒の民宿にノートを置かせてもらっている。十月五日に島に渡った氏は、このノートを開いてびっくり仰

天。ヤエヤマムラサキ写真撮影と書いてあった。八重山の名前の通り本土にはいない種である。すぐさま記入者に確認したいが、連絡が付かない。そうこうしてうちに、記入者が再び来県し、輪島に宿泊中とのこと。宿泊先で面会すると、ヤエムラはリュウキュウムラサキの間違いだった。

## 輪島市の蝶リストは七十六種

能登の市町村にあつて輪島市は、押水町と蝶リストで覇者を競っていたが、今回のリュウキュウムラサキで一種抜きん出た。続く市町村は、石動山を有する鹿島町だが、六十四種と大きく後退する。

## アラスカの蝶がもたらえるかも

昨年、ニューヨークから帰国した久慈氏の帰国ルートは、アラスカ経由。この時の採集品が三角紙でゴツソリあり、ようやく展翅が始まった。時間の経過と共に情熱は薄れるもの、三角紙を目の前にした今がチャンスかもしれない。

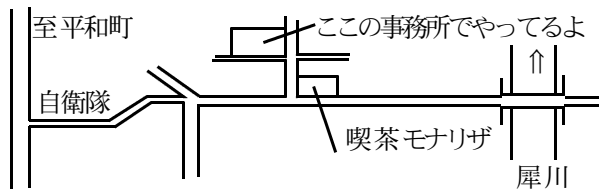
## 翔

159号

Tobu 2002年12月1日発行  
百万石蝶談会

<http://member.nifty.ne.jp/hakusan/>  
金沢市大場町東871-15 松井方  
☎920-3121 ☎076-258-2727  
郵便振替 00750-8-562  
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から  
TEL参加もOKです (076-244-3318)



## 目 次 (159号)

日吉宏朗・日吉芳朗・日吉南賀子：

奥能登の内浦町、柳田村、門前町での蝶の追加記録種	… 1
久慈一英：金沢市のキバネセセリ	… 4
松井正人：白峰村明谷川でキバネセセリを観察	… 5
松井正人：石川県に於けるキバネセセリの観察記録地	… 5
勝海雅夫：金沢市に於ける盛夏のスミナガシ採幼について	… 7
百万石蝶談会：2002年アサギマダラのマーキング活動と再捕獲記録	… 8
編 集 部：会員の動き・しゃばの動き	…10